

全学年で取り組む「次の一手」(その後)～2学期の取組経過～

6年生の取組 ～ 異なる考えを整理する力

○理解を深める対話力の向上

同じ考え、同じ解法の交流「エキスパート活動」によって、自分の考えや意味について理解を深めた後、異なる考えや異なる解法の児童同士で交流する「ジグソー活動」を行いました。自分の言葉で考えを説明することで理解を定着させたり、異なる考えに触れ新たな発見や疑問を見いだしたりすることができました。



4年生の取組 ～ 「型」で考える力

○書く力・条件作文

メモをもとに文章を書く活動を取り入れました。メモの内容について話し合ったり、例示したりすることで、「はじめ～中①、中②～終わり」の型を使い、分かりやすくまとめることができるようになりました。

私は、牛乳パックを再利用するのいいと思います。私が、このことを考えたきっかけは、牛乳をたくさん飲んで、牛乳パックが捨てられてしまっていたからです。牛乳パックは、じゃぶじゃぶです。だから、使えなくて牛乳パックは、じゃぶじゃぶで様々な物を作ることができると、私は、作りたいと思いました。このことから、私は、今まで牛乳パックを捨ててしまっていたけれど、何かに再利用するといいと思います。

児童作文(途中略)

2年生の取組 ～ 比較して考える力

○対話力・書く力の向上

説明文の学習では、話し合いを行うため次のような手順で行いました。

- ①個人の考えを順序よくまとめる(書く)
- ②ペアで考える
- ③全体で考える(対話力)

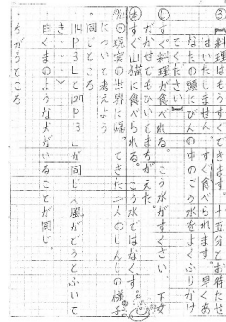
子供たちの話し合いの中で自分と友だちの考えの比較し、なるほどと思ったことを付け足すなど話し合いに広がりが見られました。



5年生の取組 ～ 別の言葉に置き換える

○言葉を置き換える力の向上

国語の文章の中に現れる表現の意味を考え、違う言葉に置き換えさせることで、表現している内容の理解を深めることができました。



3年生の取組 ～ 要約力

○書く力の向上

1学期に書く順序(はじめに、次に、終わりに)を学習し、2学期は要約(つまり)等の言葉を用いた書き方を例示したり、書き出しを示したりして、家庭学習に短作文を取り入れました。自分の考えを分かりやすくまとめることができるようになりました。

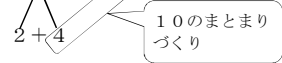
児童作文

このお話を聞いて、私は、とても感動しました。このお話は、とてもいいお話だと思います。このお話は、とてもいいお話だと思います。このお話は、とてもいいお話だと思います。

1年生の取組 ～ 関連付けと理由づけする力

○図・表・式を関連づける力の向上

繰り上がりのある足し算の学習で、ブロックを使い「あといくつで10」の操作活動をすることで、操作と計算手順の説明の時、10のまとまりづくりを意識することができました。関連付けて考える指導を繰り返していきます。



○対話力の向上

対話スキル向上のために、「どうして」(理由)を意識して話すことで、文章表現にもつながる効果が見られました。

わたしは、～です。
どうしてかという、～理由～
～だからです。

(教頭 国本 力)

全校で、5000冊読書を達成しました

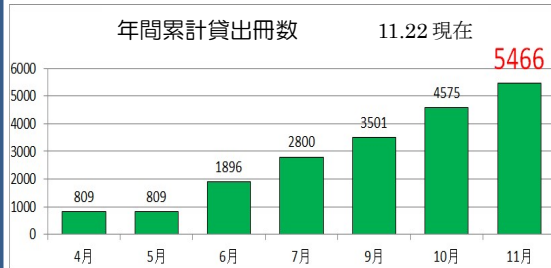


図書委員の子供たちが、全校の読書調べをしています。今回(11/22現在)の集計で、4月からの累計貸出冊が、5000冊を超えていました。学校での貸出冊数が、「家読」(家庭読書)につながっていくよう、須田小図書館教育部では、来月「親子読書」活動を計画しています。

これは、子供たちが学校から借りた本を家庭で読み、「面白かったこと」「覚えさせられたこと」等を、はがきサイズの新聞にまとめるという取組です。

言葉でまとめるだけでなく、印象に残った場面も絵にして表現してみる試みです。

いきなり分厚い本に挑戦するもよし、深い意味を分かりやすく表現した「絵本」を手にとってみるもよし。まずは、須田小「本の海図書館」に行き、本に触れてほしいです。(図書館教育部)



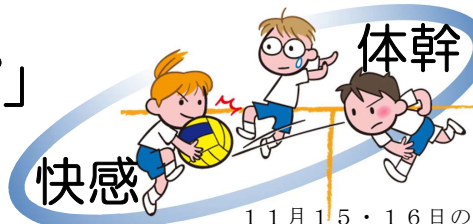
2学期の1ヶ月一人平均貸出冊数
低学年：11冊
中学年：8冊
高学年：8冊
です。また、年間目標冊数を達成している子供は、全校の約4割になりました。



「ココ」を利用した人感照明塔

【お願い】低学年の子供たちは、背表紙の題名(漢字表記が多い)から目当ての本を探し出すのに苦労しています。そこで、図書室にある絵本の分類整理(作品を50音順に並べ直す作業)を考えています。お迎えに来られた際に、出来る時間・できる冊数でいいので、ご協力願えないでしょうか。図書室の絵本コーナーには、予め「あかさたなはまやらわ」の表示を差しています。その中にある本を「正しい」所に引っ越しさせるだけです。12月4・5・6日の3日間、午後2時～4時です。

「SASUGADA カップ」 ～須田小ドッジボール大会～



11月15・16日のにわたって行われた、須田小ドッジボール大会(SASUGADAカップ)も9回目となりました。3年生以上の子供たちの、身体全体を使ってボールを投げたり避けたりする身体の動きは、学校教育課題の「体幹力」にも関係があります。優勝 帰ってきたミラクル8(6年) 準優勝 バルセロナ(3年) 3位 DAPUNP5(5年) 4位 秋祭り(4年) ※来月は、低学年限定「SASUGADA Sカップ」をすることになりました。最後のSはshort(短い)を表していて、試合時間などを短くした特別ルールで行います。